

ビオトープと雑木林の保全活動（中間報告）

めぐみ野自然の会

東京都



当会は、由木めぐみ野公園の通称ビオトープ、湧水が流れるせせらぎ、緑地の三か所を活動場所としています。

活動助成申請書に記載した活動内容別に、活動 1 年目となる 2016 年度の中間報告を行います。活動内容は、A) 樹木剪定、B) 草刈り、C) 雑木林再生、D) 広報チラシ作成、E) 広報看板掲示、F) せせらぎ補修の 6 つです。

A) 樹木剪定

テーマに挙げていた「樹木剪定」についての計画と、これに対する 1 年目の報告です。

計画

ビオトープやせせらぎ、雑木林の樹木の剪定を行う。
これまで対応できなかった高いところに対しても、脚立を購入して剪定を実施。
また、手作業で効率が悪かったため、ヘッジトリマー（エンジン式剪定機）を購入。

中間実績

◆脚立を購入

園芸用の梯子を購入しました。サイズは 270cm です。もっと大きいサイズもあったのですが、高額なためのこちらを選定しました。

これまで、高枝ノコギリなどはありませんでしたが、やはり、作業がしづらく、しっかりとした足場が欲しかったのです。緑地の雑木林は勿論、ビオトープにある樹木も伸び放題ですので、これで剪定できる範囲が広がるのが期待できます。



◆鋸を購入

樹木用ノコギリ、竹用ノコギリの数が非常に少なかったため、新しく購入しました。2016 年度は、学生ボランティアの皆さんの協力が得られることになったので、道具が圧倒的に足りず、特に雑木林や竹林の作業で、ノコギリが大量に必要と予想しました。そこで、ノコギリを 10 本ほど購入しました。



◆ビオトープでの樹木の剪定

ビオトープ池の周囲は、様々な広葉樹、照葉樹が植えられています。公園が造成されてから 10 年以上が経過し、それぞれの樹木もかなり大きくなっていま

す。この間にある程度の剪定はされてきたものの、それを超えるスピードで樹木が茂ってきていまして、公園内の視界の悪さ、風通しの悪さなどが問題となっていました。そこで、ビオトープにある数々の樹木のうち、樹体の大きいものについて優先して剪定を行うことにしました。



しかし、樹木がかなり大きく、枝といってもかなり太いものも少なくありません。作業は、少しずつ慎重に行いました。

写真は、広葉樹のうちの1本の枝を7月に剪定したときのもので、枝といっても太さが20cm近くもある太いもので、非常に時間がかかりました。

枝を切り落としても、それにつながる枝や葉っぱが非常に多く、これらを解体するのにもかなり手こずりました。

また、遊歩道沿いの樹木で、道に覆いかぶさるようになって

いる樹木がありましたので、こちらも優先して剪定しました。

それから、下は春先に実施した選定作業です。学生ボランティアの皆さんに集ってもらい、竹の剪定や樹木の剪定作業を行いました。



また、緑地の雑木林でも、樹木の剪定を行いました。

雑木林では過去、剪定作業が行われたこ



とはほとんどなく、そのためどの樹木も伸び放題です。たくさん剪定したいのですが、どの樹木もかなり大きくなっていて、枝と言ってもかなり太いものも多いのです。大きいノコギリで、みんなで頑張って切りました。

枝だけでなく、ある程度細い樹木であれば、密集している個所で間引きも行いました。

樹木を切り倒した後、学生ボラン



ティアの皆さんにノコギリで枝を細かくバラしてもらい、片づけました。しかし、木を解体するのはなかなか大変で人手が必要なため、学生ボランティアの皆さんに来てもらわないと難しいですね。

B) 草刈り

テーマに挙げていた「草刈り」についての計画と、これに対する1年目の報告です
計画

ビオトープやせせらぎの草刈りを行う。

学生ボランティアを受入れるため、道具を拡充する。

刈取った草の運搬が非常に大変なので、運搬用の台車を導入し、効率化を図る。

中間報告

草刈りは、回数が多いため、各回の記録を紹介します。

◆2016年5月7日



2016年シーズン初めての、ビオトープでの本格的な草刈りです。当会のメンバーが刈払機で草を刈り、それを学生ボランティアの皆さんに集め、運んでもらいました。

草を刈る作業は、機械でやりますので、比較的短時間でできるのですが、刈り取った草を集め、運ぶ作業は人力に頼るしかありません。

学生
さん
を中

心に、熊手やレーキで雑草を集め、それを袋に詰めて、ビオトープ内の雑草置き場（集積所）に運んでもらいました。

この時は、まだ5月ということで雑草もそれほど大きくなく、まだ柔らかいので、比較的楽な作業でした。でも、このあとがいよいよ本格的な草刈りとなります。



◆2016年6月5日



ビオトープ池のヨシがだいぶ伸びてきましたので、池の中に入って刈り取ることにしました。

このように、ビオトープ池にはヨシがビッシリ生えている個所があり、毎年刈り取っているのですが、春になると一気に伸びだし、6月上旬の時点で、もうこれだけ大きくなっています。

この場所は、池に雨水が流れ込む場所ですし、またザリガニ釣りに来る子供たちも多いので、見通しを良くする必要があります。

作業は、胴長を着て池の中に入り、長鎌を使って手で刈り取ります。さすがに刈払機では刈れません。

そして、刈り取ったヨシは、また熊手で集めて外に運び出しました。

ヨシなので、本当は刈り取ったものをリサイクルできるとよいのですが、ヨシで何かを作るノウハウもありませんし、そもそもこの時期のヨシは柔らかいので道具には使えません。

ただ、ヨシを基に作ったたい肥は、水はけがよくて貴重らしいです。そういったものに再利用できるとよいのですが。



◆ 2016年6月18日



ビオトープ池の周囲から斜面に生えているヨシや雑草の刈り取りを行いました。刈払機で一斉に刈り取り、それを集まったメンバーや学生ボランティアの皆さんに集めてもらい、集積所に運びました。

また、葛が樹木に絡まっている個

所が多いので、この葛を取り除く作業も行いました。



◆ 2016年7月2日



この日は、まずビオトープの広場の草が伸びてきたので、刈払機で刈り取りました。安全のため、遊歩道にはコーンを立てて作業します。

また、ビオトープ池の東側も、かなり雑草が伸びてきましたので、こちらも刈払機で刈り取ります。

まず通路となる

部分の草刈りを行い、次に、斜面の草刈りを行います。斜面には、適度に刈らない場所を残します。これは、雑草の中で生きる生き物を守るためです。

また、以前刈り取ったヨシが、まだ現地に山積みになっていたので、これを学生ボランティアの皆さんに運んでもらい



ました。

◆2016年7月16日

前回草刈りしたばかりですが、ビオトープ池の東側は、あっという間に雑草が伸びまして、また背丈ほどの草地になりました。



再び刈払機で刈り取りを行いました。まず通路から確保し、次に斜面を刈りました。

この季節は、昼間はかなりの暑さになりますので、作業も汗をかきながらの重労働になります。刈り取った草を運ぶのがまた重たくて、一苦勞です。

刈り取った雑草は、公園の隅に、このように山にしています。

毎回の草刈りで、雑草は巨大な山になります。

本当は、この草を運び出してほしくて、公園の管理会社に相談するのですが、なかなか費用的に難しく、現状としては山積みのままになっています。



◆2016年7月18日

ビオトープの西側斜面には、梅などの果樹を植えていますが、この斜面は葛の繁殖が目立っており、果樹が葛に埋まってしまいます。そのため、果樹を守るために定期的に葛の刈り取りを行っています。この西側斜面は、公園の管理会社が年に数回草刈りを実施するのですが、その際に、間違っただけで果樹が切られてしまわないように、果樹を目立つようにする、という目的もあります。



◆2016年7月30日



こちらはビオトープの西側斜面の遊歩道沿い。ここには、斜面からの湧き水があり、穴を掘ってため池にしています。

ここも夏の間は雑草がひどく、池が見えなくなってしまうので、定期的に草刈りをしています。

また、ビオトープ南側にある湿地池。湿地池の周りも雑草が伸び、池が見えづらくなります。この池は、湧き水が直接流れ込んでい



るため水が綺麗で、また池が小さく浅いため、子供たちの格好の遊び場となっています。

そのため、足元が見えやすいように定期的に草刈りを行っています。この日も、会のメンバーで刈払機を使い雑草や灌木を刈り取りました。



◆2016年8月6日

ビオトープの東側は、また雑草が伸びまして、ふたたび通路が見えない状態です。



この日もメンバーが刈払機で雑草を刈り取り、学生ボランティアの皆さんに刈り取った雑草を集めてもらいました。



夏の期間は、とにかく毎回雑草との闘いとなります。毎回大変ですが、この作業を続けないと雑草が巨大化し、刈り取るのが大変になってしまいます。継続的な作業が大切です。

す。

◆2016年8月28日

この日は自由池周辺の草刈りを行いました。このあたりは散歩する方も多いため、できるだけいつも綺麗にしておきたいと思っています。

作業は、刈払機で刈り取った後、熊手でかき集め、草を集積所へ運ぶといういつもの作業でした。



◆2016年9月2日

この日は、まず西側斜面の果樹の手入れから。果樹の周りがまた葛など雑草が茂ってきたので、これを草刈りしました。あっという間に果樹が葛で埋もれてしまいます。

そして、再びビオトープ池の東側は雑草が伸びてきましたので、これを刈払機で刈り取り、熊手で集める作業を行いました。





9月に入っても、まだまだ雑草の勢いは止まりません。このような作業が10月まで続きます。今回は参加者が少なく、作業を終わらせるのが大変でしたが、なんとか最低限の草刈りを行うことができました。ただ、集めた雑草を集積所へ運ぶことはできず、次回に延期しました。やはり手作業で人手がかかる作業は、人数がいないと厳しいです。



刈り取った雑草がそのまま残っていると、やはりスッキリ感がいまいちですし、美観も良くないですね。

◆2017年9月17日

この日は、ビオトープ西側斜面の草刈りから。斜面下の池の周りの草刈りを行いました。また、斜面から山桜に伸びているワイヤーに葛が大量に巻き付き、天井を覆っているので、これも取り除く作業を行いました。そして、この日もビオトープ池の東側の草刈りと、刈り取った草の運び出しを行いました。この日は学生ボランティアの皆さんがたくさん来てくれました。



◆2016年10月1日



この日は、まずビオトープ池に生えているヨシの刈り取りと運び出しを行いました。この日は学生ボランティアの皆さんがたくさん集まったので、胴長を着ての



ヨシの刈り取りも体験してもらいました。

また、ビオトープの北側・自由池周辺の雑草がまた伸びましたので、刈払機で刈り取りを行い、刈り取った雑草を学生ボランティアの皆さんに運んでもらいました。



それから、ビオトープ西側斜面の葛の取り除き作業を、学生ボランティアの皆さんにやってもらいました。

いつもこうやって最後に記念撮影をしています。



◆2016年10月29日

この日もビオトープの雑草の片づけでした。



ビオトープ池に残っていたヨシを刈り取り、そして以前刈り取ったヨシの山と共に学生ボランティアの皆さんに運んでもらいました。運び出す作業も、かなり大変な作業。ヨシは大きいので袋に詰めて運ぼうとしても、袋に入りません。そうすると、手で抱えて持つ



ていくことになります。

雑草を運び込む集積所も、雑草の山になっており、凄い量です。



この集積所に集めた雑草ですが、本来は腐った後は畑のたい肥に利用できるとよいのですが・・・引き取り手もありませんし、運ぶ手段がありません。公園の管理会社に定期的に運び出すようお願いしているのですが、それも大変なようで、なかなか運び出してもらえません。

◆2016年11月5日

この日は、ビオトープ池のガマの刈り取りを行いました。

ガマは、池の南部にびっしりと生えていまして、水面があまり見えません。

胴長を着て、長鎌を使って手作業で刈り取ります。そして、刈り取ったガマは熊手で集め、陸揚げします。





これもまた集積所へ運ばなくてはなりません、これがまた重くて重労働。

でも、この作業のおかげで、池の水面が広くなりました。こうやってガマの草刈りをするようになってまだ数年ですが、それまでに枯れたガマが水底に堆積し、腐敗してヘドロとなっていま

す。池の水質もあまりよくありませんでした。そこで、定期的に草刈りを行うようにして、あらたなヘドロができな

いようにしています。水質浄化のためには、池を攪拌することが大事だと言いますので、作業のために池の中に入ることによって池の底が攪拌され、水質浄化に一役買っているものと期待しています。



◆2016年12月23日



ビオトープもすっかり冬景色になりましたが、枯れた雑草の手入れなどを行いました。

湿地池に生えていたフトイです。もう枯れてしまったので、これらは刈り取って片づけ

ました。また、ビオトープ池に残っていたヨシです

が、これも枯れたので、西側のヨシを刈り取り、片づけました。

冬の間は、池が広く見えるようになります。



◆2016年12月27日

冬枯れのビオトープ池ですが、枯れた雑草やヨシがたくさん積み重なっているので、これを片付けました。

堆積した枯れ草を取り除き、地面が見えるようにしました。

池の周りは、もともとは池だったところに泥が堆積して、陸地化したところがあります。

このようなところは、ドロドロで作業がしづらいのですが、枯れ草を取り除いた後、泥を取り除く作業も少しずつ行っています。





こうやって、池が小さくならないようにしています。
ただ、ヨシなどは根っこがビッシリ土の中に生えており、これを取り除くのは非常に難しいです。人手ではなく、機械で根こそぎ取れるとよいのですが。そのため、根っこが残っている限り、またすぐに生えてきます。

C) 雑木林再生

テーマに挙げていた「雑木林再生」についての計画と、これに対する1年目の報告です。

計画

雑木林の若返りを図るため、樹木や竹の伐採や下草刈りを行い、新しい苗を植える。
また、竹林の健全化のため、竹の間引きも進める。

中間報告

雑木林再生も、回数が多いため、各回の記録を紹介します。

◆2016年4月16日

めぐみ野緑地の竹林の保全活動を行いました。



下草を刈り、古い竹を伐採し、解体する作業を行いました。

この日は総勢30名近くの学生さんが集まってくれまして、総出で竹林の片づけを行いました。これだけ数があると、流れ作業でスピードが速いです！

まず、以前伐採して、放置されていた竹の運び出しをやってもらいましたが、リレー方式であったという間に終わりました。



その間に、メンバーは竹を切り出します。密集した斜面の竹を間引く作業です。そして切り出した竹を学生さんに引き継ぎ、彼らがノコギリ等で解体する作業を行いました。

さすがに学生さんたちはノコギリなど慣れていないため、なかなか捗らない場面もありましたが、みな一生懸命に作業してくれました。



◆2016年6月25日



ビオトープの西側斜面に、近所の方から頂いた枇杷を植樹しました。この西側斜面は、以前は灌木が茂る場所だったのですが、葛が繁殖するにつれて灌木が枯れていき、今では葛と雑草だけの場所となっています。

ここを多様性のある環境にするため、特定の場所に果樹などの樹木を植えています。これは、その一環です。



◆2016年7月17日

緑地の雑木林で、下草刈りなどの掃除を行いました。

8月にこの雑木林でカブトムシ探しのイベントを行うためです。下草は、主に笹がメインです。以前はこの場所は背丈以上の笹が生い茂る藪でしたが、ここまで綺麗になりました。しかし、定期的に刈らないと、あっという間に伸びてきますので、継続した活動が重要です。

◆2016年7月22日



緑地の雑木林には、こんな藪がたくさんあります。毎年少しずつエリアを広げながら、これを刈り取っています。刈払機やノコギリで切りひらく作業ですが、かなり密集しているので大変です。また、笹が多いので、一度刈り取っても、足元にまだ残っているものも多く、何度も繰り返し刈る必要があります。



◆2016年9月11日



雑木林の樹木が巨大化し、かつ密集しているため、これらの間引きや剪定が大きな課題でした。そこで、伐採可能な樹木から切ることになりました。



まず、今回はイヌシデの木を伐倒しました。伐倒したあとは、ノコギリで解体していきます。葉っぱが多いので、ひたすらノコギリで切る作業を続ける必要があります、人手がないとかなり大変です。



◆2016年9月17日



雑木林再生のため、緑地に生えているクヌギのドングリを集めました。

また、学生ボランティアの皆さんに、前回伐倒した樹木の解体の続きをやってもらいました。今回は、人手があったので、作業が進みました。

集めたドングリは、ポットに入れ、芽を出させ、苗木を作り、それをまた雑木林に植える予定です。

◆2016年11月3日



緑地の雑木林周辺の藪を切り開きました。これまで手掛けなかった場所です。2016年も、さらに手入れ範囲を拡充するため、まず道を開削する作業を行いました。ひたすら藪を刈払機で刈り取ります。

面に広げていくのは追々行いたいと思いますが、道ができると林が非常に開放的になり、雰囲気も変わります。道を作るだけでも、まったく違いますね。



◆2016年11月19日

ビオトープの雑木林の落ち葉を集める集積所を作りました。

これまで、このような場所がなく、適当に積み上げていたのですが、美観的にも良くないし、いたずらで山を崩されたりすることがあったので、このようなものを作ってみました。もちろん、ここに集まるカブトムシやクワガタの育成のためでもあります。

ここに落ち葉や小枝を積み上げる予定です。

なお資材は、この林に生えている破竹を利用しました。破竹はかなりたくさん生えており、間引きする必要があったので一石二鳥です。



◆2016年12月3日

緑地のなかで、道路に近いこの場所も、夏の間には下草や笹がビッシリ生えます。これを刈払機で刈り取り、それを学生ボランティアの皆さんに熊手で集めてもらいました。



道路に近いので、不法投棄が問題となっている場所であり、いつも綺麗にしている必要があります。

◆2016年12月9日

緑地の雑木林には、隣の竹林から、このような竹が進出してきました。

そこで、この場所は雑木林として維持したいため、これらを伐採する作業を行いました。

竹は均等な長さに切りそろえ、雑木林の中に作った竹置き場に寝かしていきます。

今のところは、林の中に放置するしかなく、竹の有効利用方法が課題です。ただ、地域の夏祭りに出店する際、流しそうめんを行っている

のですが、そこでそうめんを流すレーンや器で竹を利用しています。



◆2016年12月11日



ビオトープの雑木林の広葉樹の落ち葉集めを行いました。

落ち葉はかさばるので、袋に詰めると、かなりの量になるのですが、軽いので楽です。これらの落ち葉は、作っておいた落ち葉の集積所などに積み上げました。

当会では、住民の皆さんが、雑木林に親しんでもらいたいので、雑木林を綺麗にしたいと考えています。そのため、落ち葉掃除は大切だと考えています。



◆2016年12月17日



学生ボランティアの皆さんが集まったので、雑木林で剪定した樹木の解体や、竹の伐採、解体を行っていただきました。

竹の筐はかさばるので、小さくするのが大

変です。



◆2017年1月20日

この場所は、緑地の中でも、杉がメインの林です。



しかしこの場所も笹が生い茂り、荒れ放題で足の踏み場もありません。比較的
道路からも近い場所ですし、なんとかしたいと考えていました。そこで、まず道を通すことにしました。

刈払機で笹を刈り取り、地面にたまった枯れ枝や丸太を片付け、なんとか道を通しました。これで、今後は作業が

しやすくなります。

◆2017年2月10日

緑地の竹林の竹の伐採と、伐採した竹を使った斜面の土留めの作成を行いました。

以前は斜面には竹がなかったのですが、今はかなり竹が進出しています。それに伴い、もともと斜面に生えていた樹木が枯れてきているのです。斜面の保護のため、竹を伐採する必要があります。

まず斜面の竹を伐採し、その竹を使って杭を打ち、そして土止め用に横に並べました。まだまだ一部だけですが、今後も継続していきたいです。



D) 広報チラシ作成

テーマに挙げていた「広報チラシ作成」についての計画と、これに対する1年目の報告です。

計画

年間5回前後、広報チラシを作成し、地域に配布する。

中間報告

日付	会報	タイトル
5/19	会報 Vol.23 発行	「竹林の活動と生き物調査」
6/27	会報 Vol.24 発行	「夏になりました」
9/4	会報 Vol.25 発行	「夏の報告」
11/4	会報 Vol.26 発行	「秋の報告」
1/30	会報 Vol.27 発行	「冬の報告」

E) 広報看板掲示

テーマに挙げていた「広報看板掲示」についての計画と、これに対する1年目の報告です。

計画

広報用の看板を設置する。

中間報告

2017年3月5日に、ビオトープ西側斜面の果樹付近に一つ設置しました。会の紹介や、果樹について、悪戯禁止といった内容を掲載しています。



F) せせらぎ補修

テーマに挙げていた「せせらぎ補修」についての計画と、これに対する1年目の報告です。

計画

せせらぎの川道の補修を行う。急傾斜部分では、川底の摩耗が激しいため、碎石追加によって流れを弱める。特に、蜚が生息する場所については、泥を取り除き、幼虫が住めるような碎石を投入。

中間報告

せせらぎの水路に溜まった泥の砂利の除去を行いました。



湧水の出口には、大雨の時に大量の砂や砂利が流れ込むので、浅くなっています。そこで、湧水が枯れたタイミングで土砂を取り除きました。

この取り除いた土砂を使って、今度は、せせらぎの中流にあった、水路が削られた場所の補修を行いました。



た。水で削られて穴が開いた箇所に土砂を詰めました。

次に、急流部分の補修です。

急流部分は、かなり削られていたので、水の勢いを落とすために、石を投入することにしました。

左のような大きな石を急流部分に設置しました。

また、玉砂利を購入し、これを傾斜の強い場所に撒きました。これで川底が削られるスピードが落ちることが期待されます。

ただ、10kgの玉砂利でも、撒いてみるとほんの僅かしかありません。まだまだたくさん必要ですので、今後も引き続き継続したいと思います。



また、泥がたまりやすい左の場所の泥の除去も行いました。水を含んだ泥を取り除くのは、なかなか大変ですし、汚れます。

ですが、定期的にこれをやらないと、水があふれてしまいますので、今後も継続的に行います。

